



長岡市

中越地区の高度な鋳物技術の粋を結集！！

中越鋳物青年研究会が鋳物焚火台を寄贈

このたび、中越鋳物青年研究会が、会員企業の技術力を市内外にアピールする目的で「令和5年度ものづくり事業」（※研究会の④の事業）で製作した鋳物焚火台について、広く市民から知ってもらいたいとの思いから、長岡市へ寄贈いただくことになりました。

寄贈いただく焚火台は、側面に長岡花火と月の形が鋳抜きされており、火をともしとそれらのあかりが地面に美しく現れます。日々、技術の研鑽に励む会員企業だからこそ製作できる逸品です。

つきましては、下記のとおり贈呈式を行いますので、取材くださるようお願いいたします。

寄贈物品贈呈式

- 日時 5月16日（木）午後1時30～45分
- 場所 ミライエ長岡5階 イノベーションサロン（長岡市大手通2-3-10）
- 内容 鋳物焚火台の寄贈及び受贈
- 出席者 寄贈側：中越鋳物青年研究会 会長 武 怜央奈 様
受贈側：長岡市長 磯田 達伸



外形は米の形をイメージ

中越鋳物青年研究会

中越地区の鍛造業者が集まった「中越鋳物工業協同組合」の青年部として活動

【設立】昭和36（1961）年

【会員数】13名

【活動内容】

- ①鍛造技術や経営合理化研究をテーマとした勉強会の開催
- ②県内外の先進工場の視察
- ③小学生を対象とした鋳造体験教室などの開催
- ④中越地区の鋳造業の存在や実力を市内外にアピールできる鋳物作品の製作

○材質 本体：アルミ鋳物（AC4C-F）、焚火床：鉄鋳物（FCD）

○サイズ 800mm×600mm×325mm（肉厚6mm） ○重量 約18kg

※ アピールポイント

長岡市の鋳物産業は、古くから市内基幹産業の一角を占めてきましたが、近年は、従業員の高齢化や後継者問題などの課題に直面しています。焚火台は中越地区に根付いてきた鋳物産業の灯を絶やさないよう、次代を担う若者たちから鋳物に関心を寄せていただくことを期待し、人づくりや産業振興の拠点施設であるミライエ長岡で展示します。

問い合わせ：産業支援課 河上
電話0258-39-2222